

2025年6月11日

本年5月21日に実施した当社のコミットメント型自己株式取得(FCSR)に関するQ&Aについて

当社が5月20日付で発表し、翌21日に完了した87,393,400株の自己株式取得に採用したコミットメント型自己株式取得(Fully Committed Share Repurchase)(以下、「FCSR」あるいは「本手法」)に関して、株主・投資家の皆さま方より多くのご意見・ご質問を頂戴しています。つきましては、本手法に関する株主・投資家の皆さまの理解を深める目的でQ&Aを作成しましたので、以下の通りご案内いたします。

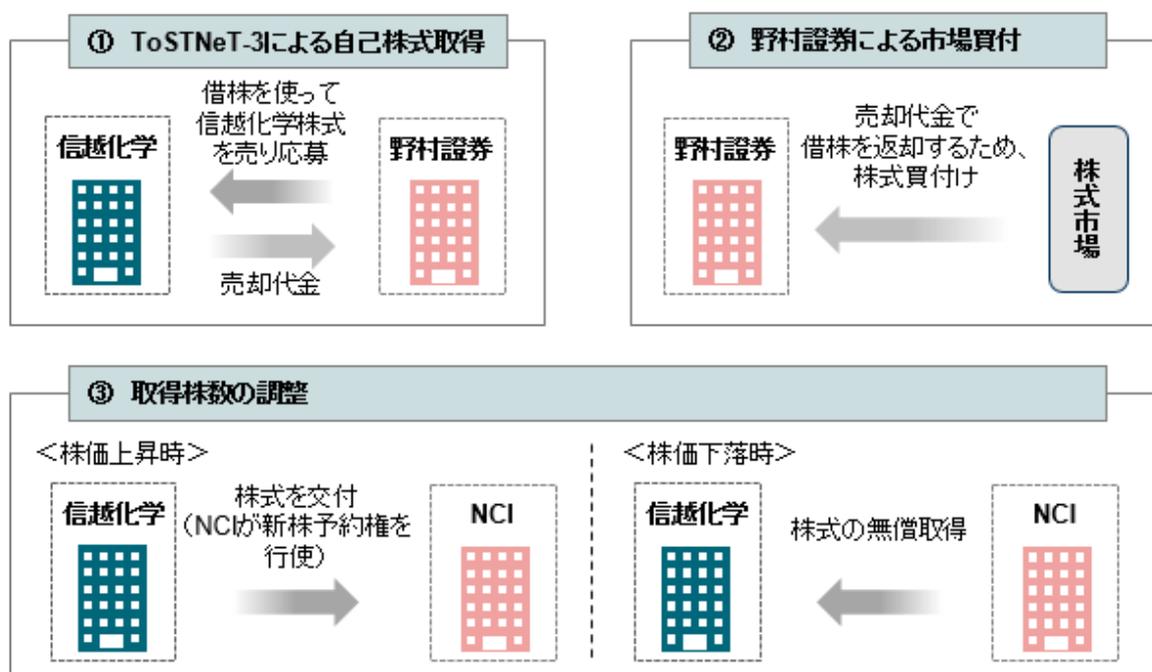
■FCSRに関するQ&A

1. FCSRの仕組みを分かりやすく教えてください。
2. FCSRは一般的な取引ですか。
3. なぜFCSRを採用したのですか。
4. 通常の自己株式取得とFCSRの違いは何ですか。
5. なぜ自己株式の買付が即日で完了したのですか。
6. 野村証券は借りた株を返す必要があるのですか。
7. 野村証券はどのくらいの期間で市場から株を買い付けるのですか。
8. 会社が市場で買い付けを行う通常の自己株式取得と今回のスキームとは、株式の需給は同じですか。
9. なぜ新株予約権を発行しているのですか。
10. ToSTNeT-3による自己株式取得の価格よりも株価が上昇した場合には、野村証券が損をして、当社が得をすることになりませんか。
11. 株価が上昇した場合、通常の市場買付による自己株式取得とFCSRによる自己株式取得の経済効果は同じですか。
12. ToSTNeT-3による自己株式取得の価格よりも株価が下落した場合には、野村証券が得をして、当社が損をすることになりませんか。
13. 株価が下落した場合、通常の市場買付による自己株式取得とFCSRによる自己株式取得の経済効果は同じですか。
14. つまり、会社が市場で買い付ける通常の自己株式取得と、今回のFCSRでは市場に与える需給や経済効果は同じということですか。
15. なぜ4月の自己株式取得枠の公表と5月の実際の自己株式取得の公表のタイミングが違ったのですか。

1. FCSR の仕組みを分かりやすく教えてください。

FCSR は次の 3 つのステップを通して実行される自己株式取得の手法です。

- ① 当社が自己株式立会外買付取引(ToSTNeT-3)により行う自己株式取得に対して、野村證券が株券貸借市場等を介して借り入れた当社株式で売り応募
- ② 野村證券は借り入れをした当社株式を返却することを目的に、株式市場内で株式買付を実施
- ③ 野村證券のグループ会社の野村キャピタル・インベストメント(NCI)と当社の間で取得株数を調整



2. FCSR は一般的な取引ですか。

本手法は、短時間で確実に自己株式取得を行う手法として米国において広く活用されている Accelerated Share Repurchase (加速型自己株式取得、通称「ASR」)を日本の法令・ルール等に適合させたものです。日本では 2022 年以降実施されており、これまで 16 例があります。

3. なぜ FCSR を採用したのですか。

当社は 4,000 億円相当の自己株式取得を確実に実施する、という目的を達成するために、野村證券より提案のあった FCSR が最良の選択肢であると判断し、本手法を採用しました。

4. 通常の自己株式取得と FCSR の違いは何ですか。

通常の市場買付による自己株式取得では買付完了までに一定の期間を要しますが、FCSR では 4,000 億円相当の大規模な自己株式取得であっても即日完了する点が最大の違いと考えます。

通常の市場買付による自己株式取得と比較して、FCSR は自己株式を確実に買い切る意思を株主・投資家の皆さまにお示しできるとともに、ROE等、財務指標面へのプラス効果が即座に出る利点を持った手法であると考えます。

5. なぜ自己株式の買付が即日で完了したのですか。

野村證券が株券貸借市場等から当社株式を借りて、5月21日付の当社が実施する東京証券取引所の自己株式立会外買付取引(ToSTNeT-3)を利用した自己株式取得に応募したことによります。

6. 野村證券は借りた株を返す必要があるのですか。

野村證券は借りた株を返す必要があります。そのため、野村證券は現在、自己の勘定で市場から当社株式の買付を行っているものと認識をしていますが、実際の野村證券の行動については当社の関知するところではありません。

7. 野村證券はどのくらいの期間で市場から株を買い付けるのですか。

野村證券の実際の買付けの状況については当社の関知するところではありませんが、ToSTNeT-3による当社の自己株式取得に応募した翌日(5月22日)から最長で2026年3月30日まで買付けを行う可能性があるかと聞いています。

8. 会社が市場で買付けを行う通常の自己株式取得と今回のスキームとは、株式の需給は同じですか。

当社は野村證券の買付に関しては関知していませんが、野村證券は借株の返却のために当社株式を買付けると理解していますので、当社株式の需給は、同程度となるものと考えています。なお、取引所の空売り残高情報によると、野村證券の当社株式の空売り残高は5月21日が86,162,662株、6月10日が66,979,854株となっており、野村證券は6月10日までに約1,918万株の当社株式を買付けたものと推測されます。

* 野村證券による売付に関する情報は、東京証券取引所のホームページにて公表されています。

<https://www.jpx.co.jp/markets/public/short-selling/index.html>

9. なぜ新株予約権を発行しているのですか。

新株予約権の割当ては、株価上昇により生じる差額分に相当する取得株式数の調整を目的として実行するものです。

10. ToSTNeT-3による自己株式取得の価格よりも株価が上昇した場合には、野村證券が損をして、当社が得をすることになりませんか。

株価が上昇した場合の、ToSTNeT-3による自己株式取得の価格と市場の平均株価の差額については、新株予約権を行使することにより、当社が差額分の自己株式を野村證券のグループ会社であるNCIに実質的に無償で譲渡し清算します。そのため、その後の株価変動による両社の間の損得は生じません。

11. 株価が上昇した場合、通常の市場買付による自己株式取得と FCSR による自己株式取得の経済効果は同じですか。

経済効果は同じです。通常の市場買付による自己株式取得においては、株価が上昇すれば同じ金額で買える自己株式数は減少します。FCSR では、株価が上昇した場合、新株予約権の行使により、差額分を野村證券のグループ会社である NCI に実質的に無償で譲渡しますので、当社の自己株式数は減少します。このため経済効果は同じとなります。

12. ToSTNeT-3 による自己株式取得の価格よりも株価が下落した場合には、野村證券が得をして、当社が損をすることになりませんか。

株価が下落した場合は、ToSTNeT-3 での野村證券からの取得株式数よりも多くの株式数を買付けることができる計算になるため、当社はその差額分に相当する数の当社株式を NCI から無償で取得します。そのため、その後の株価変動による両社の間の損得は生じません。

13. 株価が下落した場合、通常の市場買付による自己株式取得と FCSR による自己株式取得の経済効果は同じですか。

経済効果は同じです。通常の市場買付による自己株式取得においては、株価が下落すれば同じ金額で買える自己株式数は増加します。FCSR では、株価が下落した場合、差額分を野村證券のグループ会社である NCI から当社が無償で取得するため、当社の自己株式数は増加します。このため経済効果は同じとなります。

14. つまり、会社が市場で買い付ける通常の自己株式取得と、今回の FCSR では市場に与える需給や経済効果は同じということですか。

通常の市場買付による自己株式取得と今回の FCSR は市場に与える需給バランス、経済効果は同程度のものが期待できると考えます。

15. なぜ 4 月の自己株式取得枠の公表と 5 月の実際の自己株式取得の公表のタイミングが違ったのですか。

当社の 2025 年 3 月期の当期純利益を自己株式取得に充当できるのは 5 月の取締役会以降であったため、このタイミングでの自己株式取得の公表となりました。

なお、FCSR は ToSTNeT-3 により自己株式取得を行う仕組みとなっており、公表の時期について相場操縦との疑念を持たれないよう東証の指導に基づき ToSTNeT-3 による買付日の前日としました。

株主・投資家の皆さまにより正しくわかりやすい情報を発信するよう IR として努めてまいります。今後も当社をご支援賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

以 上